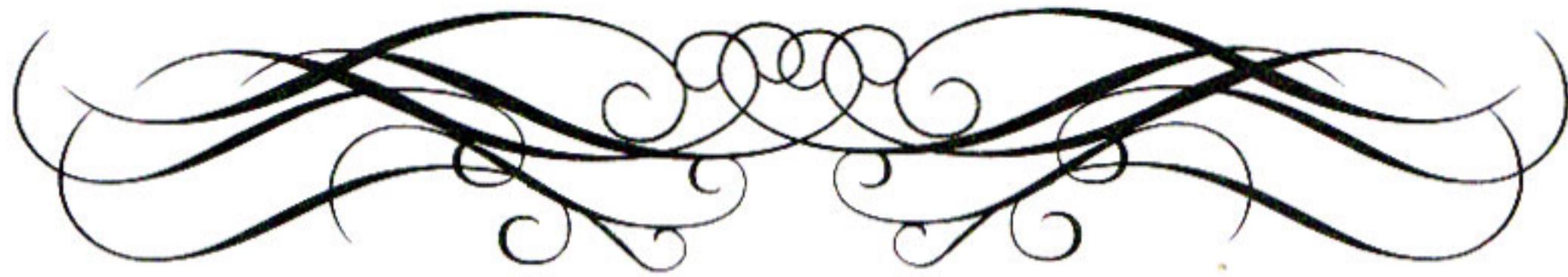


第15回 留学生による 日本語作文 コンクール

入選作発表
2008年9月



主催・大阪鶴見ロータリークラブ
協賛・大阪日本語教育センター



第15回作文コンクール入賞者

初級

中級

上級

最優秀賞

金 雅映（韓国）
キム アヨン
「私が経験した日本」

最優秀賞

曾 環蕙（台湾）
ソウ ケイエ
「大好きな晃ちゃん、
元気でしょうか」

最優秀賞

TAY YAN LING
(シンガポール)
ティ ヤン リン
「電話を貸して
あげましょうか。」

優秀賞

崔 原硕（韓国）
チエ ウォンソク
「小さな奇跡」

優秀賞

NGUYEN THI KIM THOA
(ベトナム)
ウイン ティ キム トア
「家族と希望」

優秀賞

朴 鍾鎮（韓国）
バク ジョンジン
「雨のあと」

林 慧珍（韓国）
リム ヘジン
「国にいる両親へ」

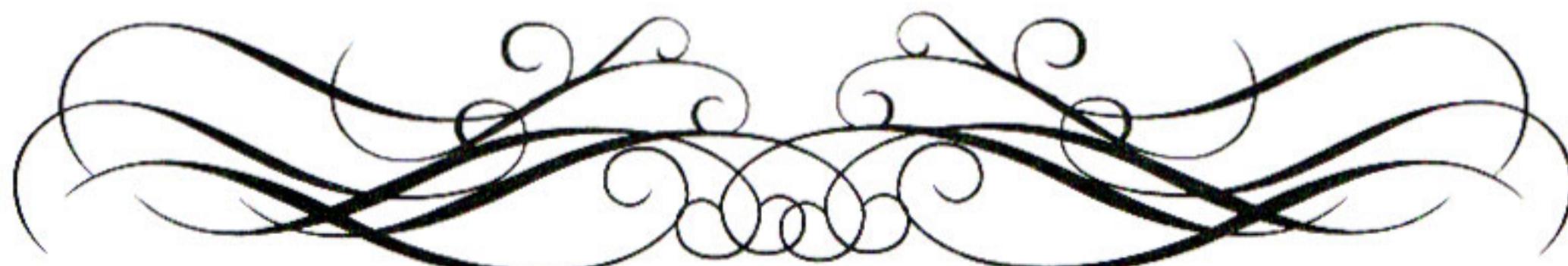
陳 家葳（台湾）
チン チャウイ
「地球の涙」

沈 寧（中国）
シン ネイ
「日本女性のイメージ」

審査員特別賞

SAINBUYAN NASANTOGTOKH
(モンゴル)
サインボヤン ナサントグトフ
「お母さん」

ALAMOUDI RAYAN
AHMED A
(サウジアラビア)
アルアムーディ ライyan アハマド
「回教とアラビア人」



初級参加者 50名

郑 豁 (中国)	宋 駿杰 (台湾)
吳 家州 (台湾)	龔 哲瑋 (台湾)
STELLORA SUNYOBI (インドネシア)	浦 高 (中国)
范 筏苓 (台湾)	陳 晓晓 (中国)
钱 坤 (中国)	LIARD SONY SIMATUPANG (インドネシア)
THEN POH LING (マレーシア)	DINH NGOC TUAN (ベトナム)
刘 予源 (中国)	ALSHahrany, MAJDI SALEM M(サウジアラビア)
吳 赫煥 (韓国)	JARWALI, TURKI AHMAD H (サウジアラビア)
牟 飞麟 (中国)	文 碩浚 (韓国)
朴 洋 (中国)	陳 詩婷 (台湾)
尹 永銘 (中国)	金 真善 (韓国)
金 雅映 (韓国)	林 慧眎 (韓国)
袁 汀 (中国)	张 美 (中国)
MAADI, MAJED YAHYA H (サウジアラビア)	邹 佩侃 (中国)
ALHARBI, ALAA AHMED H (サウジアラビア)	温 映辉 (中国)
林 逸婷 (台湾)	BAYANBAT TUMENDELGER (モンゴル)
魏 运柔 (中国)	NTARA DENNIS MUTETHIA (ケニア)
徐 兆东 (中国)	DOMINGUEZ RODRIGUEZ EDUARDO ARTURO (ドミニカ)
ABDUL ROZAQ LATIF FAUZAN (インドネシア)	ALTIYARE, HATTAN MOHAMMAD H (サウジアラビア)
时 佳 (中国)	ABUGHAZALAH, MOHAMMED BAHA F (サウジアラビア)
王 哲 (中国)	楊 淳麟 (台湾)
SAINBUYAN NASANTOGTOKH (モンゴル)	SHAHATA, AHMAD MOHAMMEDADEL A (サウジアラビア)
ALJABRI, SULTAN ABDULLAH A (サウジアラビア)	BARNAWI, EMAD MOHAMMED O (サウジアラビア)
赵 川野 (中国)	ALFATTANY, SAMI ABDULGHANI A (サウジアラビア)
崔 原碩 (韓国)	ALAMRT, MART SAADI M (サウジアラビア)

中級参加者 46名

NGUYEN THI KIM THOA (ベトナム)	FELEMBAN, ATHARY ABDULHALEEM M(サウジアラビア)
CHINKIJKARN NAVAVICH (タイ)	张 琰 (中国)
胡 展義 (台湾)	曾 璞蕙 (台湾)
孟 憲郁 (台湾)	陳 家葳 (台湾)
KABUNDI MUKENGESHAYI HONORE (コンゴ民主共和国)	陳 禹竹 (台湾)
叶 枫 (中国)	金 昭英 (韓国)
许 瑛 (中国)	SOETANTO YOELIANA (インドネシア)
邱 于珊 (台湾)	朱 剑桥 (中国)
金 大石 (韓国)	廖 家微 (台湾)
張 均汝 (台湾)	李 欢 (中国)
范 仲夏 (中国)	李 由 (中国)
纪 晓雯 (中国)	ALHARBI, MOHAMMED ABDULLAH T(サウジアラビア)
王 茜 (中国)	宦 丽芬 (中国)
楊 智 (中国)	張 雅喻 (台湾)
ALAMOUDI, RAYAN AHMED A (サウジアラビア)	季 莎莎 (中国)
ALSUBAIE, RAED MOHAMMED S (サウジアラビア)	譚 樱 (中国)
AL MOFTY, BAYAN AMEEN M (サウジアラビア)	吳 俊元 (中国)
李 腾飞 (中国)	石 薇 (中国)
陳 淑媛 (台湾)	秦 楠 (中国)
林 玉娜 (中国)	ANGSANA VERONICA (インドネシア)
LEONG QI XIANG (シンガポール)	SINABUTAR DINI MARIA YOSEFIN(インドネシア)
HALLGREN HENRIK JOHAN (スウェーデン)	胡 晓萌 (中国)
MELIH, ANAS MOHAMMED A (サウジアラビア)	PEDROSA FILIPE BARNES (ブラジル)

上級参加者 53名

王 颖丰 (中国)	范 青峰 (中国)
殷 振榮 (韓国)	乔 悅 (中国)
余 相承 (韓国)	肖 瑶 (中国)
徐 吴辰 (中国)	张 峻幘 (中国)
孙 佳 (中国)	杨 琳 (中国)
白 龙飞 (中国)	邵 忠华 (中国)
马 逊辰 (中国)	李 清珠 (中国)
王 蕾 (中国)	黃 奕綸 (台湾)
王 蓓 (中国)	张 品 (中国)
茹 文俊 (中国)	徐 丽丽 (中国)
NARKMAHAKUN PAPAT (タイ)	李 大英 (韓国)
王 天虬 (台湾)	BADIBANGA TSHIPOTA HENRI (コンゴ民主共和国)
隋 家伟 (中国)	李 一白 (中国)
孙 洪洋 (中国)	KAMAL, EMAD ADEL S (サウジアラビア)
张 金龙 (中国)	HOKROH, ALI ABDULGHANY R (サウジアラビア)
胡 玥 (中国)	ALTALHI, NAIF AMER H (サウジアラビア)
张 懿伦 (中国)	李 锋 (中国)
裘 佳娜 (中国)	肖 夏 (中国)
綦 凯胜 (中国)	TAY YAN LING (シンガポール)
沈 宁 (中国)	張 威嶺 (台湾)
张 颖信 (中国)	郝 述鯤 (中国)
RATTANAPISIT ISARET (タイ)	朴 鍾鎮 (韓国)
卓 佾 (中国)	LIM MENGTHOUNG (カンボジア)
曾 筱文 (台湾)	林 根洙 (韓国)
SRISUPAPAK CHATDAO (タイ)	趙 允卿 (韓国)
戴 秀蓁 (台湾)	CHAMORRO SEBASTIAN URIEL (アルゼンチン)
余 佩恒 (台湾)	

私が経験した日本

金 雅映（韓国）キム アヨン

最優秀賞（初級）

六年前、母も私も妹もいっしょに三泊四日の福岡旅行に行きました。旅行で一番印象に残ったことは歩道にごみがひとつもないことと車道を走っている車から煤煙がぜんぜん出ないのことでした。日本人が環境をどんなに大切に思っていることか知りました。

私は韓国の中学校で一年間日本語を習ったので、その時たとえ日本語が下手でも日本語で話したかったです。けれどもガイドの人が「日本語がかんべきじゃなければ言わないう方がいいです。」と言いました。日本人は外国人が日本語を少しだけ言つてもかんべきに言えると思って話すので時々トラブルになって困っている場合が多いそうです。だから私は店で「いくらですか。」という簡単なことも言えないでボディーランゲージだけつかいました。

四年前には、「日本自由の森学校」の学生たちが韓国へ来て私の高校と交流するプログラムに参加しました。このプログラムには日本軍慰安婦のおばあさんたちが集まって住んでいる「分かち合いの家」をたずねると

いう交流会もありました。これは韓国と日本の敏感な問題なので日本の学生たちがあまり好きじゃないかもしれないと思ってちょっと心配しました。けれどもおばあさんの話を聞いて歴史の現場を見せる歴史館を見回りながら涙を流して心から謝罪した日本の学生たちを見てから韓国の学生たちも深い感動を受けました。

私が日本留学を決心したことはこんな経験があったからです。日本へ来てまだ三ヶ月ぐらいしか経っていません。だからこのごろでもまだ時々日本人が言う日本語がわからないので困っています。けれどもただ頭の中で知っていただけの日本文化を今、日本の大阪で自ら体験しているのでだんだんてきてとても楽しいし、これから日本生活も期待されます。今の日本留学も私の中でまたひとつの大切な経験になるでしょう。

小さな奇跡

崔 原碩（韓国） チェ ウォンソク

優秀賞（初級）

私の家族にあった小さな奇跡について書こうとします。

私は私より十一才幼い弟がいます。弟が生まれる前、やく十五年前私の母は体が痛かったのです。今もその時の病気の名前はわかりません。しかし強い薬を一年間たくさん使って体がだんだん弱くなつて髪も全部抜けました。そうやって一年ぐらい母が入院していましたから父は母を看病したり幼い姉と私の面倒を見たりしていました。多分ずいぶん疲れたと思います。

一年間という長い病院生活に苦しんだ母が元気になって退院しました。それから家族旅行にも行って楽しく過ごしました。

退院して二年後思いがけず子供ができる父と母は驚きました。始めはとても嬉しかったですけれども病院に行ってお医者さんと相談をした後ですごく悩みました。お医者さんが母は二年前に一年間使った強い薬が胎児にどんな致命的な結果をあたえるか知りませんし今は大丈夫そうに見えるけれども精神的に問題がある子供が生まれる確率が高いので産ま

ない方がいいと言いました。

しかし父と母は結局弟を諦めないで出産しました。幸いにとても元気な男の子でした。その子が今はもう小学校の六年生です。また医学的に説明できないですけれども母はもっと元気になって弟のおかげで家族で話し合う時間が多くなってなかよくなりました。

これが私が経験した小さな奇跡です。

奇跡はいつも私たちの近くにありますから誰にでも起きるのです。

国にいる両親へ

林 慧珍（韓国）リム ヘジン

優秀賞（初級）

おはようございます。手紙は久しぶりですね。元気ですか。今こちらは雨がふったり晴れたりしています。

小包をありがとうございました。くつとズボンはよくはいています。キムチも毎日食べています。やっぱり父と母の料理が一番おいしいです。

わたしのこちらのせいかつは本当におもしろいです。学生のりょうに住んでいるのでいろいろたいへんおもしろくてべんりです。9時10分にじゅぎょうがはじまりますが9時起きてもおそくないです。それにりょうで外の国の友だちといっしょに自分の国のこと話をのもおもしろいです。りょうもおもしろいですが学校のじゅぎょうはもっとおもしろいです。四月はみんな日本語がよくわからなくて日本語より英語で話すことが多かったです。でも、今はみんな日本語が上手になってきたのでたいてい日本語で話しています。早く上手になってもっと話したいです。

わたしはわたしのクラスの先生も好きだし学生たちもみんな好きですから毎日じゅぎょうはおもしろいです。だから、もうわたしのことをし

んぱいしないでください。わたしはここにすぐなれて元気にせいかつしています。わたしはわたしのことより父と母のことがもっとしんぱいです。わたしがそばにいる時は父のようつうと母のかぜなどをよく知っていましたが、今は父と母が言わなければわかりにくいでですから、なにかわることやいたいところがあればすぐ言ってください。わたしは父と母のことは全部知っておきたいんです。あ、わたしはここで一人でそうじやせんたくや食事のしたくをする時、父と母の恩を毎日感じています。ありがとうございます。

どうぞお元氣で。さよなら。

六月二十八日

お母さん

SAINBUYAN NASANTOGTOKH (モンゴル) サインボヤンナサントグトフ

審査員特別賞（初級）

子供はお母さんにとってはこの世界に生きている事の意味だと思います。もしあなたはお母さんなら一日中はたらいて夜帰ってきて自分の子供の「ママ」とよぶかわいい声を聞いて、疲れを全部忘れてしまうかもしれません。だれでもお母さんが大好きです。子犬でも子ねこでもみんなお母さんが好きです。でも私達が母をよろこばせることよりきずつけることの方が多いです。お母さんは私達を育ていつも私達の事を心配しているから私達はお母さんにおんがえししたいと思いますがその時は少ないです。たぶん生まれた時だけお母さんがたいへん幸せだったけれどその後幸せの時はないらしいです。私達が勉強のために仕事に頑張っている忙しい間にお母さんが年をとって私たちと一緒にすごす時間が少なくなっていくことを私たちがぜんぜん気がつかないでざんねんです。

私は国にいった時ずっと母と一緒に住んでいたのにお母さんが私にとても大切な人だということをなかなか分かりませんでした。ごめんねお母さん。今私はお母さんのこととか生活のことをたくさんかんがえているんです。私は母の子供でよかった。お母さんも私の母でよかったです。

た。私はこの世界に住んでうんがとてもいい人だと思います。先日私は前に撮った写真を全部見ました。友達と一緒に撮った写真はたくさんあるけれども母と撮ったのは一枚しかありません。「どうして」私は自らをかえりました。

お母さんの愛を何にも代えることはできないです。もしあなたはお母さんと撮った写真が少なかったらもう一度撮ってお母さんから遠い所に住んでいるならぜひお母さんに会いに行って、一日でも一緒にすごして、行きたい所があったらぜひ行って、したい事があればぜひしてください。これは私達がお母さんからもらった愛とくらべるとそれほど大きくないけれどお母さんはそれだけでよろこんでもう一年長く生きるはずです。その時あなたのお母さんはたいへんうれしいんだと思います。みなさんはいつでもお母さんことを愛してください。

最後に私はおかあさんに一つのこと言いたいです。お母さん、私はあなたのいきうつしだからずっと私の母でいてください。ずっと元気でいてください。私はお母さんが大好きです。

大好きな晃ちゃん、元気でしょうか

曾 環蕙（台湾）ソウ ケイエ

最優秀賞（中級）

私が日本へ来てもう三ヶ月が経ちました。日々変わらず今日も元気で学校に向かって歩いています。ある日、一人のお母さんが三さいぐらいの男の子の手をつないで、幼稚園へ向かっていました。その子の笑顔を見てある子のことを思い出しました。

私は高校の時日本語を勉強していました。私は子供が好きで日本語と子供に関わる仕事をしたいと思い、日本から台湾へ海外赴任している家族向けの幼稚園を選びました。アシスタントの期間が終わり、自分のクラスを持ちました。このクラスには二十二人の日本の子供達がいます。子供達は毎日友達と遊んだり、私の周りをぐるぐるまわったりしながら遊んでいました。二十二人の子供達の中でも一番手のかかる子供は晃ちゃんという子でした。この子はほかの子と比べてちょっと特別な子供で、授業が始まっすぐ教室から出て一人だけ外で過ごしたり、昼ご飯を食べる時でもいつも食べずに積み木を取ってほかの友達に投げたりします。クラスメートが「晃ちゃんやめなさい」というと晃ちゃんはすぐ怒って

みんなの昼ご飯をこぼします。遊んでいる時は友達の背中を押したり、耳をかんだりもします。いつも晃ちゃんを抱きしめながら落ち着かせていました。しかしその時の私は無力感でいっぱいでした。一体どうすればいいのか、どうすればみんなと仲良くなれるのか、何をしてあげればいいのか、晃ちゃんの場合は特別の幼稚園に行かせたほうがいいのか…子供達からだけでなく保護者達からの文句が多くなってきました。

そんなある日、子供達を連れて外遊びをしている時、晃ちゃんは暴れて滑り台から落ち、顔を地面に直接ぶつけてしまいました。晃ちゃんを抱きしめて見てみると晃ちゃんの顔は血だらけでした。すぐ園長と一緒に病院へ連れて行きました。あまりに痛くて晃ちゃんはずっと大泣きをしていました。その姿を見て私の心は痛くて痛くてたまりませんでした。そしてずっと私がしっかりしていなからと自分を責めていました。病院に着いてからすぐ診てもらおうとしましたが、晃ちゃんはどうしても手当を受けるのが嫌でずっと泣き

ながら医者をかんだりキックしたりしていました。私も落ち込んで泣いてしまいましたが、晃ちゃんを抱きしめて意見を聞いてみました。

「晃ちゃん、唇痛いでしょう、薬を塗ってもらいましょう、晃ちゃんは薬を塗らないと治らないよ、もも先生の傷も治らないよ、お願ひね、少しだけ塗りましょう。」晃ちゃんは私の顔を見て小さい手を出して私の涙を拭きながら、「泣かない…もも先生泣かない…。」と言ってくれ、手当てもおとなしく受けてくれました。その時私は自分のことよりも私のことを慰めてくれた晃ちゃんにすごく感動し、晃ちゃんが普段暴れているのに何か理由があるのだろうと感じました。

その事件のおかげで私は晃ちゃんの心に触れることができました。そしてある決意もしました。今の私は先生なんてなれません。知識もないし、日本の文化も背景もコミュニケーションの取り方も全くわかっています。こんな私が子供に正しい常識や行儀など教えられません。私は日本へ行ってもっと勉強しようと決意しました。晃ちゃんやほかの子供達を残して日本へ行くのはとてもつらいですが、私のせいで子供が傷ついてしまうほうがもっと苦しいことなのです。晃ちゃんととの出会いは私に

とっても重要な出会いでした。そして今の私は日本において辛いと感じるとき晃ちゃんやほかの子供達の写真を見て力をもらっています。みんなは私の宝物です。晃ちゃん元気でしょうか、ちゃんとご飯も食べているでしょうか。大好きだよ、そしていつかまた会いましょうね。

家族と希望

NGUYEN THI KIM THOA (ベトナム) ウィン ティ キム トア

優秀賞（中級）

私はベトナムから日本へまいりました。私の家族は五人です。父と母と弟と妹と私です。私の父と母の仕事は農業で果物の木を植えています。毎日朝早く起きてお弁当を作つて田んぼへ持つて行きます。いつも長い時間農作業しなければなりません。一日に十、十一時間も農作業をします。そして帰つてからすぐシャワーをして晩ごはんを食べた後で七時ごろ家族全員で丸くなつて座り、父と母に、「道徳」とか「人の生き方」とかを教えてもらいました。父と母には長い休みやひまな時間がありません。ですから、この「家族と希望」を通して私の心を表したいです。

父と母は日曜日には私達を教会に連れて行ってくれたり、料理を教えてくれたりしました。日曜日の午後は掃除と洗濯をします。祝日は学校が休みだったので小さいマーケットに果物や野菜などを売りに行きます。そのわずかな収入は私達の学費のために使います。

毎日ほとんどの時間は農作業をしています。田んぼで田植えをしている時雨がふらないと大変困りますが

大雨も困ります。家族は私の初めての学校です。私はとても経済的に苦しい家庭でした。私達兄弟は皆同じ学校へ行って、いっしょうけんめい勉強しました。妹は五年前に英語の大学に入りました。大学を卒業して小さい店でいろいろの物を売っています。私は子供のころから苦しい環境の中で暮らしていましたから、そのような人の気持ちがよく分かりました。私は貧しく苦しんでいるハンセン病の人などを助けるためシスターになる夢を持っていました。ある日新聞に、「愛徳姉妹会」のシスター達が、貧しく苦しんでいる人の力になっていることが書いてありました。ですから、休みの日にはシスター達の働いているハンセン病の人達の家へ行きました。そこには、ハンセン病の人と物ごいをする人達の世話をしているシスター達の姿がありました。家へ帰つて色々の事を考えました。どうしてあの人達を大切に世話をしているのでしょうか。忙しくても楽しく幸せな気持ちになれるからではないかと思いまいした。それから私は休みの日になるとシスター達

の所へ行って一緒に手伝いました。例えば食べ物がない人達に料理を作つてあげたり一人で生活している老人や体の不自由な人達のシャワーをするのを助けたりしました。また、子供達に色々なことを教えてあげたりもしました。このような事を二か月続けた後で私もシスター達のように生涯各地のあらゆる貧しい人の世話をしながら神様に捧げたいと思うようになりました。私は十五歳になつて「愛徳姉妹会」に入る決心をしました。会に入ってから幼稚園の先生になるためにべんきょうしました。というのは子供達に「人の生き方」を教えたかったからです。そして去年の春、日本へまいりました。あれから一年三か月がたち、現在、大阪日本語教育センターで勉強しています。学校では色々の国の人と友達になりました。この学校の先生達のおかげで日本語が話せるようになりました。日本語の勉強はとても面白いのでもっと勉強したいと思います。毎日学校で四時間、そして家では五時間ぐらい勉強しています。それに土、日曜日も朝八時から夜十時までずっとします。なぜ、たくさん勉強するのかというと日本語がよく分かるようになって人々の力になりたいからです。

父と母はいつも人々に关心をもつ

ことを教えてくれました。ですから、私は「家族と希望」を大切にしなければいけないと思いました。私がたくさんもらった幸せを、世界の人々にたくさんあげたいです。

地球の涙

陳 家歲（台湾）チン チャウイ

優秀賞（中級）

聞こえるか、我々を生み出す地球の泣き声が聞こえるか。昔から、人間は自然環境を資本として、利用しながら文明を発展させてきた。このため、二十一世紀を迎えた現在において、原始的な狩猟採集生活に比較して遙かに高い生産力を実現し、文化的な生活を保つことができたのである。しかし、自然環境を利用することで、否応無しに自然環境に負担をかけることになる。時にそれは過大なものとなり、逆に人間の生活を脅かす結果となる事態も見られるようになつた。近年、産業の発展とともに、たくさん環境問題が起つて、人為的な環境の破壊は絶えず増えていく。酸性雨、オゾンホール、異常気象、地球温暖化など全地球規模の環境の変化が顕著になってくる。

そういう問題に対して、私自身はごくもののあわれ深さを感じた。私の祖父はそういう環境汚染の被害者の一人であるのだ。なぜかというと、祖父の農地はある工場の下流にあり、農地は灌がいするなら大量なきれいな水が必要となる。でも工場が毎日化学薬品を含んだ水を排出するから、

農産物はその化学薬品の水の影響を受け、あげくの果てに有害な農産物として焼却されてしまった。祖父の例は単に、環境問題の氷山の一角に過ぎない。そういうような環境問題は世界各国で存在している。産業の発展により、環境問題は数え切れないのでたくさん出現した。例えば、工場の排煙は、大気汚染の原因となり、水質の汚染により、農作物だけでなく、川や海などの生態系も一斉に破壊されてしまった。

私は子供の頃、かつて環境保護というような活動に参加したことがある。その活動を通して、さまざまな人為的な環境破壊に関するを見極めた。あの時から、私は環境保護を重視する必要があるという気持ちを持っている。そして、活動の先生がそういう真実を伝えてくださった。それを聞いたうえで、私は地球は正に生きている生命体だと信じている。先生の話によると、政府は道路を作るために、川の流れを切断したり、アスファルトを舗装したりしていた。後に、地震でその破壊された川があつという間に、元の姿に戻されてしまつ

た。それを聞いてから、たとえ、人間がどんなに破壊しても、地球は自分の意志で元に戻すことができるという感想が心から湧き出した。

確かに、環境問題は毎日毎日増える一方だ。それゆえ、現在、人々の環境問題に対する関心は徐々に高まってきた。世界各国でそういう環境問題をめぐって、いろいろな環境保護についての法案の対策が立てられた。そしていろいろな自然保護団体が現れた。国際自然連合をはじめ大小さまざまな自然保護団体、個人の活動家などが活動を行っている。一方で、我々は個人を中心として、環境保護の運動を展開することができと思う。例えば、省資源や省エネルギーやリデュース、リユース、リサイクルというRの運動などをサポートできると思う。

地球が誕生してから、約四十六億年経過しているが、人間はただわずか何百年で、地球の資源を使い尽くした。人間は豊かな生活を求めるために、悪魔のごとく環境を破壊したり、神様のごとく人間向けに便利なものを創造する。そういう役目を演じている。そういうわけで、破壊のスピードは予想以上に速いものだ。このままでは、我々が住む地球はすぐ崩壊してゆく。地球は我々にとって唯一のものだ。そして、自分の後々の

ために、もっとしっかりとだめだと思う。今何もしないなら、地球はすぐ赤はだになるではないか。我々子々孫々のために青々と地球を保たなければならない。そういう守るべき気持ちを皆に伝え、地球の未来を慎重に考えてほしいと願っている。

回教とアラビア人

ALAMOUDI RAYAN AHAMED A (サウジアラビア) アルアムーディ ライян アハマド

審査員特別賞（中級）

アラビア人は昔から大地に生きているという国民です。アラビア人は一般にベドウィンという遊牧民です。ベドウィンというのは遊牧は砂漠で一か所に定住する事がない人です。砂漠で、何処でも水と牧草がある所へ遊牧民は移動します。その二つの大切な物がなくなった時に又他の所を捜して移ります。そういう移動生活をしながら大抵生きています。アラビア人の元の所はアラビア半島でも南の方です。そこからアラビアの人がアジアやアフリカやヨーロッパなどに広がりました。アラビアの歴史ではある一つの行事はアラビア人の歴史で一番大切な行事です。それは唯一神の予言者の教えを伝導することです。その予言者はムハッマドです。予言者のムハッマドはアラビア人までしか送られませんでしたが、人間までも全員で予言者のムハッマドが唯一神に送られました。けれども、予言者のムハッマドの教書を信じた多くの人はアラビア人の外にありませんでした。ですから多くのアラビア人にとって回教は一番大切なことなんです。アラビアの遊

牧がイスラムに入った後でその人達の生活がすっかり変わりました。というのは、予言者のムハッマドの教えたことは人間からではないけれども本当の唯一神に下されましたからです。イスラム教が広がる前のアラビア人の生活はとても不安でした。その社会では殺すこととか盗むこととか乱暴なことなど少なくありませんでした。そしてその間に人々を非常に様々な石の神に礼拝していましたが、それにその石の手で作った神が唯一神と一緒に礼拝していました。マッカにアルハラームのイスラム教寺院は昔予言者のイブラーヒームの息子の予言者のイスマーイールと唯一神に建てさせた回教寺院があります。その時から毎年世界中の各国から人々が巡礼にマッカへ来ます。ですから昔からマッカはアラビア人と、そして予言者のムハッマドの伝道を信じたムスリムにとって非常に大切な所なんです。予言者のムハッマドはアラビア人だけでなくマッカに生まれました。マッカではこの予言者回教で人間へ送られる前に人々は皆に好かれていました。というのはム

ハッマドは「正直な方なんです」と言われています。人々と貿易する時も皆が喜んで貿易していました。予言者のムハッマドは生まれた時から酒を飲んだことがありません。そういうことはイスラムの法を秩序させています。例えば、イスラムの法で酒を飲んではだめですが、というのは酒を飲む時人の自制はなくなり、そんな時には人間の行動と動物の行動が違うことがなくなります。ところが、イスラム教の法であることの理由が私達には分かりません。でもイスラム教徒はクルアーンと予言者のムハッマド言葉を全部信じています。というのは全部唯一神の本当の言葉なんです。クルアーンといってイスラム教の経典です。唯一神の啓示を中心とするという本です。クルアーンは神様からアラビア語で下さいました。その為アラブ人は大抵クルアーンの言葉を読んでいるはずです。けれども現在、アラブ人もクルアーンを読みにくいし、分かりにくいんです。クルアーンは優秀な古いアラビア語です。同じ一つの文章も人間には作れないぐらいクルアーンの言葉は奇跡的な言葉です。現在、イスラム教徒の数は約十五億人ですが、各国に住んでいる、イスラム教徒はクルアーンの意味が大体分かりません。

(アラビア語で) ⇒ (日本語で)
クルアーン ⇒ コーラン
ムハッマド ⇒ マホメット
マッカ ⇒ メッカ

電話を貸してあげましょうか。

TAY YAN LING (シンガポール) ティヤンリン
最優秀賞（上級）

もしもあなたが道を歩いている時、知らない人が突然現れて、携帯電話の形をしているバナナをあなたに差し出して、バナナに手振りをしながら、「電話を貸してあげましょうか？」と言ったら、あなたはどんな反応をするだろうか。

それに対する人々の反応があるテレビ番組で放送された。おもしろいことに、東京人と大阪人では全く違った反応が見られたのである。東京人が完全に冷たい表情をしていたのにに対して、大阪人は笑いながら、バナナを持って、携帯電話と同じように耳のそばに置いて、「もしもし」と言ったのだ。

喜劇役者の発祥地として大阪の人々は、ユーモアが分かると言われている。そのユーモアは大阪人の話し方から行動にまであらわれている。私は商店街を歩くたびに、店員の笑顔を見つけられるし、全く知らない私と仲間のように話し始める人に会うこともできる。そんなやさしさは大阪人のユーモアにあふれる性格から来たに違いない。

また、大阪人のユーモアは話し方からも気づくことができる。初めて大阪へ来た時、大阪人の会話を聞いても全く理解できなかったので、驚いた。「自分の日本語はそんなに下手なの!?」とくよくよ悩んでいたが、大阪弁という大阪人の代表的な話し方の存在を知ったのだ。「日本語がそんなに下手なんじゃないや。」ということに気がついて、心配がなくなっただけでなく、大阪弁を習いたいという強い気持ちを持つようになった。なぜかというと、大阪弁は何となく音が柔らかくて、親切な感じがする上に、聞きやすいから、聞き手も話し手ももっと楽しくて、仲がいいような気がするからだ。ある日、私は大阪人の友達と一緒にいちご狩りに行って、皆が「これ、めっちゃおいしいやん」と言ったのに対して、「これはとてもおいしい。」と言った私は、大阪弁でしゃべっている人の話し方のほうが感情が含まれていて、おもしろいと思った。そのため、感情がうまく表せる大阪弁でしゃべる大阪人と話している時のほうが、

「めっちゃ」気楽でユーモアにあふれた感じがするのではないか。

大阪弁を使う上に、大阪人の友達はだじゃれを言うことも好きだ。ある日、私が台所で料理を作っている時、不注意でじゃがいもを落としてしまった。

「あっ、ポッテート。」と友達が言った。また、ある日、パンジーがきれいに咲いている庭を友達と見た。友達は「私はパンジーが大好き。でも、一つの種類は好きではないや。」と言った。私は興味を持って、「何の種類？ どうして？」とたずねた。

「チンパンジーよ。」

また、だじゃれだ。

私はおなかが痛いぐらい笑った。大阪人のユーモア的一面がまた見つけられた。だじゃれだけなく、大阪人の友達はよくなぞなぞや早口言葉など言葉の遊びをして、とてもおもしろい。友達は「カエルぴょこぴょこ、3ぴょこぴょこ。あわせてぴょこぴょこ、6ぴょこぴょこ」や「東京特許許可局許可局長」など早口言葉を教えてくれた。私がやってみると、間違いがいっぱいあって、皆が大笑いをして、とても楽しく時間が過ごせた。また、友達が教えてくれるなぞなぞもおもしろくて、いつも大笑いしてしまう。例えば、「空の上には何がある？」

さあ、考えて見よう。

大阪に来て以来、大阪人と交流をして、時間は笑いとともに過ぎて來た。大阪人の代表的なユーモアにあふれた性格は確かに留学生の私にとつて、新しい生活に適応するための大きな役割を果たした。大阪人の笑顔や親切な話し方などはきっとずっと私の心と記憶の大切な部分になるだろう。タイが世界で有名な「笑顔の国」であるのと同じように、大阪は日本の「笑顔の府」といっても、言い過ぎではないだろう。

ところで、さっきのなぞなぞの答えは「シ」。（音楽の旋律の「ソ、ラ、シ」だからだ。）おもしろいじゃない？

雨のあと

朴鍾鎮（韓国）バク ジョンジン

優秀賞（上級）

今月に入って私が日本に来てから三ヶ月になった。今日はトーフルの試験の日。朝早く出かけて地下鉄に乗った。地下鉄にはまばらに空席があった。空いている座席に座って電子辞書のトーフル単語集を開いた。日本語の勉強と毎日の生活に追われて別にトーフルの勉強の時間をとるのが難しかったので、試験当日に間に合わせで勉強をしているのだ。部屋があるあびこから学校まで地下鉄に乗る際はいつも真っ黒な窓の向こうの様子がイヤだったが…。どこからか地下鉄が地下から地上に出てきた。外のビルを見るのも楽しい。ちょっと単語集の練習問題をいくつか解いたと思ったところに地下鉄が千里中央駅に着いた。そこからモノレールに乗り換える。トーフルの試験が大阪大学の豊中キャンパスで行われるおかげで日本に来て初めてモノレールに乗る機会が得られた。思った通りモノレールの中の雰囲気は余裕がある。だが、今日はトーフルを受ける学生なのか、日曜日でも若者がたくさん見かけられる。

窓の向こうに家々がいっぱいに広

がっている。モノレールは高架を走り、私はその家々を見下ろした。家々を抱くようにそびえる山には雲がかかっていた。日本では雨の日は雲が非常に低くかかり、まるで神仙の世界に来ている気分になってくる。毎日行ったり来たりする道の様子もわかるてくる。なにか急に今までの世界が隠していた本来の姿を見せてくれているような気がするのだ。そのうち、窓の外のモノレールから比較的に近い距離に一棟のマンションが見えた。私の目の高さくらいの部屋のベランダで、ある男が白いランニングのままタバコを吸っていた。それを見ていると、しょぼしょぼと雨が降っている日曜日、あの男のようにのんびりと通り過ぎるモノレールを見ながらタバコを吸う生活をしたいという気分になってしまった。

ふとフランスの留学時代が思い浮かんだ。まだ大学生だったその時、私はフランス語にまじめに挑戦したいと思ってフランス行きの飛行機に乗った。2004年8月の話だ。私が住んでいたリルという町はフランスとベルギーの国境地帯にある町でゴル

族の文化とフランドルの文化が混ざり合っている町。いつも雨が降ったりやんだりの天気なので晴れた日は違う町になったような気がするほどのところだった。真夜中の旧市街の裏道を迷ったりしたあの時代に、私は幸福だったかな。昔、朝鮮に漂流したオランダ人のハメルのように私はここ、大阪で漂流しているのか。そんなことを考えているうちに、降りる駅に着いた。試験場は意外にも人が多くなかった。四時間かけて試験を終えてから試験場を出ると、今運動を終えたような女の子達が飲み物を飲んでいた。

一人で長く電車に乗っていたら色々なことが思い出された。父と母は元気かな。兄は一生懸命生活しているかな。僕はここに何のために来たのか。なんばで多くの人達が降りたら、地下鉄の中が急に寒くなった。私は持っていたシャツを出して着た。

家に帰るとすぐ眠りに誘われた。夢の中で私は海を望んでいた。バルセロナでよく行った防波堤のようだった。海はエメラルド色に輝いていた。波打つ海辺は見ていると時間が経つのも忘れてしまい、ずっと見ることになってしまう。くだけてまた新たによせる波。一つ一つの人生も波のように跡形もなく生と死をくり返すのか。私は三年前にここで同

じことを考えた。誰かが後ろで呼んだと思ったところ、目を覚ました。電話が鳴っていた。受けると聞き慣れた声が聞こえた。

「トーフルはどうだった。」

「難しかったよ。初めてだったから。」

初めてでもうまくできるといいのにと思った。私たちの人生も初めてでもうまくできると。でも初めてなのにもう通った道のように生きていくとやはりおもしろくないかな。

もう六時になった。部屋には何も食べ物がなくて、夕飯の材料を買いに出かけた。雨はやんでいた。向こうに地平線がありそうな遠くの山の上に雲が低くかかっていた。名前を知らない鳥が二羽飛びたった。無彩色の空に一瞬すき間ができたところに、鮮明に青空が輝いていた。不意に笑いがこみあげた。私はちゃんとここまで来たね。これからもがんばってね。また雨が少しづつ降り始めた。でもこの世界はありのまま私が生きている世界のまま残っていた。もう神仙もタバコの男もなし、私は道の上で笑いながら立っていた。

日本女性のイメージ

沈寧（中国）シンネイ

優秀賞（上級）

小さいころ、日本の少女漫画をよく見ていた私は、日本の女の子といえば「かわいい」という言葉を思い浮かべてきました。大学一年生の時に、第二外国語として日本語を習ったことをきっかけに、日本文化についての本や雑誌を読み始めました。その時、日本の女性のやさしさは世界中で一位だという評判を知りました。

昨年十月、初めて日本へ来た私は大阪心斎橋の街頭でおしゃれな女の子の姿に目をうばわれて、「さすが日本の女性、アジア諸国でファッションの先端を行っていると言ってもいい過ぎではない」と思いました。時間が経つにつれて、日本の女性に対するイメージがだんだん豊富になってきました。しかし、彼女たちのよくがんばって働いている態度に関心したのは最近のことです。

三ヶ月ほど前に、私は経験を積むためにレストランでホールのアルバイトを見つけました。実はホールというより、洗い物からドリンクの補充まで全部やらなければいけない仕事です。最初のうちは、仕事の内容

が全く分からなかったので先輩から一つ一つ教わりました。二週間という短い時間が経ちましたが、私にとってはとても長かったです。時々一人で狭い、生ごみの臭いのこもったキッチンで「なんで私はここでこんなに辛い仕事をしているの。思ったのとぜんぜん逆だ、いやだなあ」とつぶやいていました。

週末には、お客様がいっぱいきました。二階の四十席がたちまちふさがっていました。店内がにぎわっていましたが裏のキッチンは別世界のようでした。きたないお皿の山、めちゃくちゃに床に置いたままの空のワイングラス。私は生ビールのタンクを一階から二階まで運ばせられました。「うそ。こんなに重いやつは男性にまかせるはずなのに」と思って、私は不満な気持ちがまた出てきました。「無理だな。やっぱり先輩に助けてもらおう」。この時、ある女の子の先輩がきました。そして、約30kgのタンクを軽々と二階に運んでくれました。私は驚きました。

その先輩は外見から見て細くて、かわいいタイプの女の子です。大学

に入ってからずっとこの店でバイトをしていて、今年でもうすぐ2年になります。キッチンで洗い物をするのに没頭している彼女の姿を見て、私は聞きました。「バイトは嫌いじゃないですか。特に週末の時とても忙しいので、疲れたでしょう。」「そうね疲れたけど、忙しかったら、やりがいもあるよ。自分の給料はお客様からもらうという気持があれば、やる気がどんどん出て来るわ」と彼女が返事しました。私は自分の耳が信じられませんでした。

今、彼女の話を思い出して、私は自分のことをはずかしく思います。

中国の子供はみんな一人っ子なので、小さいころからずっと両親に甘やかされていて、社会でアルバイトをする経験がほとんどない人は少なくありません。私もそういう人です。大学で知り合いになった女の子たちの中には、家事などぜんぜんできない、かえってこれを自慢しているおじょう様みたいな人もいます。タンクどころか、ワインのコルクでさえ抜く力もありません。そんな女の子にレストランのホールの仕事をさせたら絶対無理でしょう。前の私は箱入り娘の生活を羨ましく思っていました。でも今、日本でバイトを三ヶ月間してから、そんな未熟な考えが消えました。

人は社会の中に入ると、心の成長が速くなることができるかと思います。一緒に働いている先輩たちから、仕事の内容だけでなく、サービスの礼儀の用語とか、仲間の間の付き合いとか、いろいろなことを勉強しました。何年が経っても、あの先輩の話が心に残っているに違いないと思います。

「かわいい」、「やさしい」「おしゃれ」。日本の女の子と言えば、これらの言葉のほかに、「働き者」も一緒に浮かんできます。